

株式会社 芦別RICE (北海道芦別市)

・玄米 ななつぼし ゆめぴりか



芦別の米が海外で絶賛!芦別産ブランドを海外へ

取り組み内容

- **芦別市中心に生産する「ななつぼし」と「ゆめぴりか」の玄米を輸出。**輸出事業者と連携し、現地のニーズや状況を生産者へ提供。行政団体とも情報共有し、産地を育成。GFPにも参画。
- ■国の登録検査機関(もみ、玄米)となり、**輸出玄米は農家生産者毎に検査。**農家毎に検査することで、「美味しいお米作り」に対する生産者の意識向上につながり、「北海道芦別産」をブランドとして届けている。
- 戦略的輸出基地指定を受け、地域の農家へ参加を呼びかけ、輸出に取り組む農家を増やし、ロットを確保。(設立時3人→2024年24人へ)。参加希望の農家には、生産調整による輸出取組みへの支援、効率化策等の技術支援を行い、輸出参加のハードルを下げている。



▲芦別RICE出資農家の水田

▼ドローンによる農薬散布





▲収穫された輸出用米(9月末頃)

生産者毎 に検査 生産者の 名入りの袋で 海外へ届く▼



▲現地飲食店から生産者に から生産者に 絶賛の声をい ただいた。



株式会社カクニ茶藤

(静岡県静岡市)

- ▪粉末茶
- •緑茶



生産者とともに、有機栽培茶を世界へ

取り組み内容

- ■2011年の東日本大震災・放射能被害による深刻な経営危機から、輸出事業への参入を決意し、戦略的に輸 出を進めた。現在は全売上の半数以上が輸出での売上が占め、さらにここ4年で売上は倍増。また、輸出アイテ ムの9割以上が有機栽培茶である。
- 顧客ニーズに応えるため、従来の分業型ではなく新たなサプライチェーンの構築に注力。有機茶生産から加工、販売まで一貫した直接生産販売体制を構築し、安定供給を可能にした。有機JAS認証、FSSC22000など数々の認証を取得。全国の茶農家や生産地と取引し、慣行栽培から有機への転換も身を切って支援。今年からは自らも生産者 (認定農業者) となり、地域農業基盤の維持にも貢献する。







HALAL/2014













展示会出展を契機 にサウジアラビアでの 取引が始まる▼





静岡県が実施する▲ 有機茶バリューチェーン化事業にも参画

▲Organic (2023/24) ▲ Kosher/2019 ▲24年に初参加したドバイ展示会



スターゼン 株式会社 (東京都港区)

- 牛肉
- -豚肉
- -加工品



最高の技術と輸出専用ブランドで海外に展開

取り組み内容

- ■『食の感動体験を創造することで世界中の人々と食をつなぎ続ける』を経営理念とし輸出事業に注力。
- 食肉輸入で構築した海外拠点やネットワークを強みに海外輸出を展開し、現在**51の国と地域へ輸出可能**な体制を構築。
- ■輸出の要である阿久根工場は最高技術を有する「部分肉製造マイスター」が多数在籍し、顧客ニーズに対応。
- 同施設内では新たに「スキンパック加工」設備を導入し、流通チャネルを拡大。
- ■賞味期限を延長し、フードロスを削減に寄与。
- 海外輸出専用ブランド「AKUNE GOLD」を立ち上げ、欧州のステーキ品評会で最優秀賞受賞するなど、ブランド認知度が向上。

輸出先相手国リスト▼





▲輸出EXPOでの出展風景



▲カッティングイベントの様子

World Steak Challenge 欧州品評会 最優秀賞受賞





和牛マスター 輸出拡大コンソーシアム (兵庫県姫路市)

国産和牛

-リブロース

・サーロイン

・ヘレ など



全国のブランド和牛を姫路発でプロモーション

取り組み内容

- 2021年の設立以来、ANA国際線機内食への提供や、アメリカ・オランダでの政府関係者、現地バイヤー、飲食店などを集客したイベントを開催した。
- 2023年からはワールドオークションと称し、世界各国の牛肉取扱事業者を姫路に参集し、せり販売やカット実演デモを行い、国産和牛の海外での認知度向上を図った。
- ■アメリカやEU、東南アジア等主要13か国に輸出しており、**2017年から毎年前年比約120~200%伸びている**。
- ■輸出先国に応じた各種規制に準じた生産体制を整え、施設登録や必要書類などの事務手続きも対応している。

ANA国際線機内食に神戸ビーフを使用 ▼併せPRサイト開設





▲ EU向けカッティングプロモーション

神戸ビーフの盾を掲げる参加者▶





ワールドオークション **▼で最高値をつけた** 海外からの参加者